

米軍基地環境カルテ

牧港住宅地区（施設番号：FAC6061）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

59. 牧港住宅地区（施設番号：FAC6061）	59-1
59.1 基本情報	59-1
59.1.1 名称	59-1
59.1.2 所在地、広さ（施設面積）	59-1
59.1.3 施設の概要等	59-1
59.1.4 施設の管理及び用途	59-1
59.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	59-1
59.1.6 土地利用規制図	59-2
59.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	59-2
59.2.1 基地等の土地の状況	59-2
59.2.1.1 地形分類図	59-2
59.2.1.2 表層地質図	59-2
59.2.1.3 土壤図	59-2
59.2.1.4 切盛土分布図	59-2
59.2.2 基地内の施設の使用状況	59-3
59.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	59-3
59.2.2.2 施設等使用履歴	59-3
59.3 基地等の環境状況	59-4
59.3.1 自然環境（植物）	59-4
59.3.1.1 現存植生図	59-4
59.3.1.2 植生自然度図	59-4
59.3.1.3 特定植物群落	59-4
59.3.1.4 重要な種、貴重な種等	59-4
59.3.2 自然環境（動物）	59-4
59.3.2.1 重要な種、貴重な種等	59-4
59.3.3 水利用状況	59-5
59.3.3.1 水利用状況	59-5
59.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	59-6
59.3.3.3 河川及びダムの分布状況	59-7
59.3.4 地下水の状況	59-8
59.3.4.1 地下水基盤面等高線図	59-8
59.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	59-8
59.4.1 事故等の概要	59-8
59.4.2 事故等発生場所	59-8
59.5 環境調査を実施する場合の留意事項	59-8
59.6 その他情報	59-8

59. 牧港住宅地区（施設番号：FAC6061）

59.1 基本情報

59.1.1 名称

牧港住宅地区（施設番号：FAC6061）

59.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和 47 年 5 月 15 日>

所在地：那覇市

広さ：約 1,968 千m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

（http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf）を参照



図 59-1 牧港住宅地区の位置図（昭和 47 年時）

59.1.3 施設の概要等

昭和 62 年 5 月 31 日、全部返還。

59.1.4 施設の管理及び用途

昭和 62 年 5 月 31 日、全部返還。

59.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は、那覇市の新たな都市拠点づくりとして那覇新都心地区区画整理事業が実施された。当該地区には、那覇市新都心銘苅庁舎、沖縄振興開発金融公庫、沖縄職業総合庁舎などの公共建築物、大型ショッピングセンター、映画館、飲食店などの商業施設、アパートやマンションなどの住宅施設が多数建設された。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

59. 1. 6 土地利用規制図

牧港住宅地区跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図C」に示す。

59. 2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

59. 2. 1 基地等の土地の状況

59. 2. 1. 1 地形分類図

牧港住宅地区跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図C」に示す。

59. 2. 1. 2 表層地質図

牧港住宅地区跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図C」に示す。

59. 2. 1. 3 土壌図

牧港住宅地区跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図C」に示す。

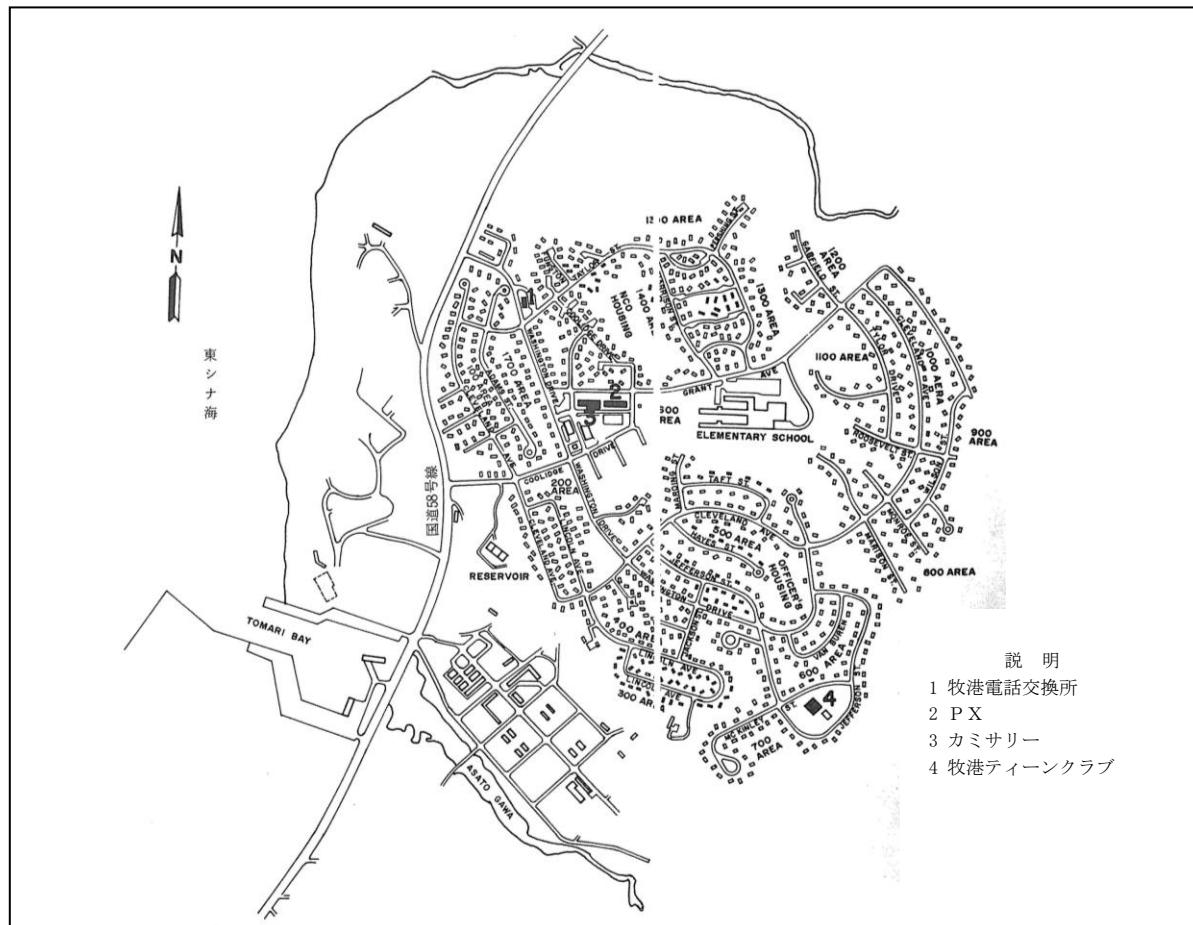
59. 2. 1. 4 切盛土分布図

牧港住宅地区跡地の切盛土分布図は作成されていない。

59.2.2 基地内の施設の使用状況

59.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

「沖縄の米軍基地」で確認した牧港住宅地区の施設配置図を図 59-2 に示す。



出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 54 年 3 月、沖縄県渉外部基地渉外課）より引用

図 59-2 牧港住宅地区の施設配置図

59.2.2.2 施設等使用履歴

- | | |
|------------------|--|
| 昭和 20 年 | 軍事占領の継続として使用開始。 |
| 昭和 28～30 年頃 | 天久、銘苅等の住民に立退き通告を出し接收。 |
| 昭和 40 年 6 月 30 日 | 25 千m ² 返還。 |
| 昭和 47 年 5 月 15 日 | 牧港・那覇住宅地区（那覇 H 地区）が「牧港住宅地区」として提供開始（使用主目的：住宅及び管理事務所）。 |
| 昭和 50 年 7 月 31 日 | 約 5 千m ² 返還。 |
| 昭和 52 年 2 月 28 日 | 陸軍から空軍へ移管。 |
| 昭和 52 年 4 月 30 日 | 約 229 千m ² 返還（第 14 回安保協合意分）。 |
| 昭和 53 年 3 月 31 日 | 保安柵等を追加提供。 |
| 昭和 55 年 3 月 31 日 | 約 774 m ² 返還。 |
| 昭和 58 年 6 月 21 日 | 排水管埋設用地約 810 m ² を追加提供。 |
| 昭和 58 年 6 月 30 日 | 約 480 m ² 返還（第 15 回安保協合意分）。 |

昭和 60 年 5 月 14 日 約 24 千m²返還（第 15 回安保協合意分）。

昭和 62 年 5 月 31 日 全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 62 年 3 月、沖縄県総務部知事公室基地涉外課）、

「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

＜主要建物及び工作物＞

建 物：住宅、小学校

工作物：プール、ソフトボール場

出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 62 年 3 月、沖縄県総務部知事公室基地涉外課）より引用

59.3 基地等の環境状況

59.3.1 自然環境（植物）

59.3.1.1 現存植生図

牧港住宅地区跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図 C」に示す。

59.3.1.2 植生自然度図

牧港住宅地区跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図 C」に示す。

59.3.1.3 特定植物群落

牧港住宅地区跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

59.3.1.4 重要な種、貴重な種等

牧港住宅地区跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）を表 59-1 に示す。牧港住宅地区跡地及び周辺の浦添市指定天然記念物として「内間の大アカギ」がある。

表 59-1 牧港住宅地区跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）

No.	名称	所在地	区分
1	内間の大アカギ	浦添市内間	浦添市指定天然記念物

出典：「～平成 27 年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

59.3.2 自然環境（動物）

59.3.2.1 重要な種、貴重な種等

牧港住宅地区跡地のある那覇市で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は 18 種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成 10 年 2 月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

59. 3. 3 水利用状況

59. 3. 3. 1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 59-3 に示す。

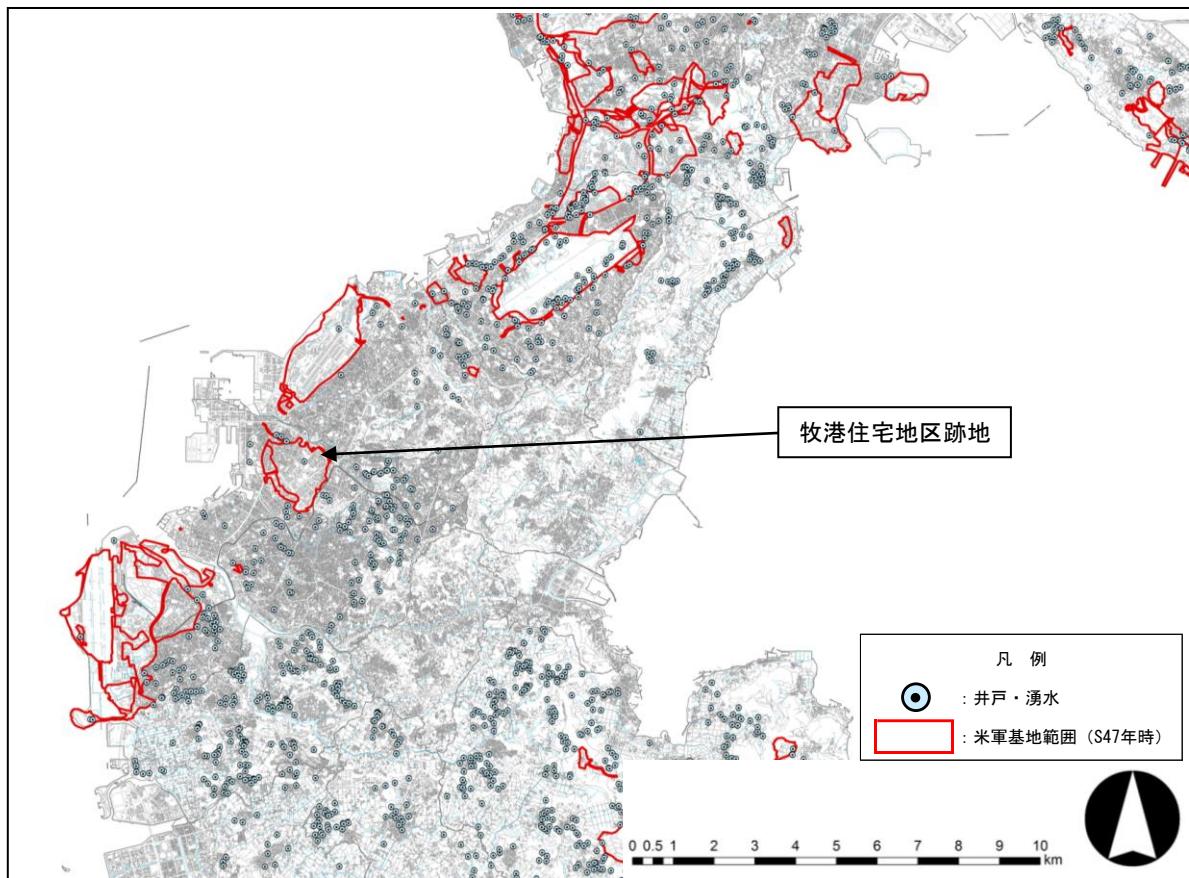


出典：「2015<平成 26 年度決算版> 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 59-3 沖縄島及び周辺の水利用状況

59.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

牧港住宅地区跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 59-4 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、 第 269 号）」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、
活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 59-4 牧港住宅地区跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

59.3.3.3 河川及びダムの分布状況

牧港住宅地区跡地及び周辺の河川、ダム分布状況及びその概要を図 59-5、表 59-2 に示す。牧港住宅地区跡地及び周辺には、二級河川が 2 本ある。

なお、周辺に国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、 第 301 号）」

出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、

「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、

「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 59-5 牧港住宅地区跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

表 59-2 牧港住宅地区跡地及び周辺の二級河川の概要

安謝川水系 安謝川	指定延長：5,200m	流域面積：8.10km ²
指定区間：（左岸）那覇市首里石嶺町 3 丁目 80 番地先から海に至る		
（右岸）那覇市首里石嶺町 3 丁目 4 番地先から海に至る		
安里川水系 安里川		
指定延長：7,260m		
流域面積：8.57km ²		
指定区間：（左岸）南風原町字新川 593 番地先から泊高橋に至る		
（右岸）那覇市首里鳥堀町 5-39-2 地先から泊高橋に至る		

出典：沖縄県ホームページ「沖縄の河川資料室」

（<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kasen/kanri/okinawanokasensiryousitu.html>（平成 28 年 8 月 23 日閲覧）を参照

59.3.4 地下水の状況

59.3.4.1 地下水基盤面等高線図

牧港住宅地区跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図を図面集「地下水基盤面等高線図C」に示す。

59.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

59.4.1 事故等の概要

牧港住宅地区及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成15年3月、沖縄県基地対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成20年3月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「環境白書【平成24年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成25年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成26年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

59.4.2 事故等発生場所

牧港住宅地区及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

59.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

59.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局（National Archives and Records Administration, NARA）（以下、「NARA」と言う。）で収集した在日米軍関係資料のうち、牧港住宅地区及び周辺に関する環境関連情報の概要を表59-3に示す。

牧港住宅地区及び周辺については、以下の資料が確認された。

表 59-3 牧港住宅地区及び周辺に関する環境関連情報の概要（NARA収蔵）

年月日	場所	資料の種類	概要
1962年 2月12日	—	文書	8th Missile Battalion, 3rd Artillery (Nike Hercules) の緊急対応に関する資料。関係部隊兵が住んでいるHousing Area の地図。
1955年 1月27日	施設独身用 宿舎	写真	施設独身用宿舎の写真。
1976年	住宅地区	写真	牧港住宅地区の空中写真。ハウジング・エリア。

59.7 環境等に関する通常監視について

牧港住宅地区及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、

「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、

「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

